

東洋大学創立125周年記念

2012年度は、東洋大学創立125周年を迎え、川越版ホームカミングデーとしてキャンパスツアーと、落語及び切り絵のイベントと合同交流会を行いました。

キャンパスツアー

午前と午後の2回にわたり開催された川越キャンパス内をめぐるキャンパスツアーには、計約70名が参加。第一回は総合情報学部の小瀬博之教授、第二回目は理工学部の藤野珠枝非常勤講師がツアーガイドを務め、こもれびの森、グラウンド、大越記念庭園、教室棟などを見学しました。途中、野球部グラウンドの階段で記念撮影し約1時間かけてキャンパスを散策しました。

また、実験室および教室の公開も行われ、参加者と学生、教員が教室で交流する場面も見られました。

図書館では、箱根駅伝や東都大学野球の優勝トロフィー、切り絵作家・百鬼丸氏(1974年3月工学部建築学科卒業)の立体切り絵作品等が展示され、多くの参加者が足を止めて熱心に展示作品を見学していました。



イベント

三遊亭遊喜師匠(1995年3月工学部応用化学科卒)による落語が披露され、会場は大きな笑いにつつまれました。続いて、切り絵作家・百鬼丸氏による切り絵の実演が行われました。会場の参加者からのリクエストに応え、様々な切り絵を舞台上で作成する百鬼丸氏の華麗な技に、会場からは大きな歓声が上がりました。



合同交流会

電気工学科OBの北本建夫の開会の辞、長嶋会長とご来賓の挨拶の後、安岡みち子川越事務部長の乾杯のご発声により約200名の教職員、学生及び卒業生での盛大な懇親会となりました。建築学科OBでもある松下吉男連合育成会委員会委員長の閉会の辞で懇親会の幕を閉じました。



東洋大学工学部 土木工学科開設50周年記念大会

2012年11月25日に学科開設50周年記念大会を大宮サンパレスで開催しました。「大学の現状報告」(鈴木先生)、「土木工学科50年の歩み」(加賀先生)。各支部の活動状況報告、歴代同窓会長挨拶等全国各地から駆けつけてくれた多くの卒業生と先生方とが一堂に会して懇親を深め50年の歴史を振り返ることができました。

